

令和2年度 コミュニティからのご意見

本 島 コミュニティ

<p>ご意見 1</p>	<p>(牛島・小浦港の改修)</p> <p>牛島の小浦港は、漁船やごみ等の運搬船が通るため住民の方々の生活に欠かせない重要な港である。しかし、港に接岸するための港湾内の航路が土砂等の堆積により、特に干潮時は船が通ることできないほど水深が浅くなっている。そのため、土砂の堆積を取り除き、船が通航することができる安全な航路になるように港湾整備を行っていただきたい。</p> <p>(回答)</p> <p>今年度に入り、自治会より同様の御意見を頂いており、その際、小浦港の状況を確認させていただきました。</p> <p>今回の御意見にもございますとおり、港内航路に土砂が堆積しておりました。しかしながら、浚渫を実施するには、測量を行ったうえで、設計し、工事を発注する必要がありますことから、時間と費用が必要となります。</p> <p>このことから、しばらくはご不便をおかけしますが、御理解と御協力を頂ければと思います。</p>
<p>ご意見 2</p>	<p>(笠島の城跡の整備について)</p> <p>笠島の城跡は館^{たてしろ}城^{やかたじろ}という県下でも2例しかない非常に珍しい形態の城跡であるため、貴重な観光資源であると考えられる。そのため、笠島のまち並みから城跡へ通じる道は遊歩道として整備されていたが、老朽化により、現在は安全な通行さえ困難な状態である。特に、城跡へと登る階段が途中までしか修繕されておらず、また帰路として利用されていた橋については、腐食が激しいため、撤去されたままである。</p> <p>上述したこれらの問題が解決されないままでは、観光資源として利用することは難しいため、安全に通行が可能で、かつ観光客が来られるように整備していただきたい。</p> <p>(回答)</p> <p>笠島城跡は、本島の東北端、笠島の海に突き出た東山にある中世に築かれた山城で曲輪や堀切、土塁が良好な状態で残っている県指定の史跡であります。</p> <p>その笠島城跡に上がる北側の遊歩道では、老朽化や大雨により設置してあった丸太階段が傷み、安全な通行に支障をきたしておりましたので、令和元年度に修繕を行いました。いたんでいる範囲が拡く、限られた予算の中では一部しか修繕ができませんでした。今後も予算の範囲内ではありますが安全に笠島城跡を訪れることができるよう、傷みがひどい場所を優先して継続して修繕を行う予定です。</p>
<p>ご意見 3</p>	<p>(コミュニティバス以外の住民の移動手段の確保)</p> <p>島内では高齢化が急速に進み、運転免許の返納をする方も増えてきており、コミュニティバスが唯一の移動手段である方も少なくない状況である。しかしながら、コミュニティバスの利用については停留所まで歩いていくことさえ困難な島民もおり、か</p>

つ運行本数も限られている。

去年度も島内の移動困難者の取り組みについて質問させていただいたが、その回答として、ボランティアの方が運転する乗り合いタクシーの運行という回答を頂いた。しかしながら、前述したように高齢化が進んでいる中で、ボランティアという形での運転手の募集は島内の高齢化や人口減少の進んでいる現状では難しいため、他に対策について考えられているのか市の見解をお伺いしたい。

(回答)

住民の移動手段について、島内ではいわゆる公共交通としてコミュニティバスを運行しておりますが、路線定期型の運行であり停留所まで歩くことができないといった個別の事情に対応できるものではありません。また、現在の路線運行に加えて個別要望に対応した輸送を行うことは、運行費の増額となることから、将来的な財政状況の見込みからも難しいと考えています。

このような中で、住民相互の助け合いにより、個別の要望にも対応できる移動手段を確保する手法として「高齢者移動手段確保モデル事業」をご提案したところです。

ご意見では、運転手が確保できず当該事業には取組めない場合における他の対策についての考えとのことですが、ひとつは昨年もお答えしたように、現在の路線運行をデマンド型運行へ切り替えて、バス事業者等に運行を委託することが考えられます。

もうひとつは、広島コミュニティバスのように地元の NPO 法人などの団体が事業主体となり、市の補助を受けて運行するものです。広島では、路線運行と合わせて住民の要望を受けてデマンド輸送も行っています。運転手もボランティアではなく、有償のスタッフとして従事いただいております。

いずれの方法にしても、現行の運行費の範囲内で検討する必要がありますが、現在の状況からの改善にはつながるものと考えております。

なお、昨年度実施した「地域公共交通網形成計画」の策定に向けたアンケートでは、将来の交通に関する取組として「デマンド型乗合タクシーの導入」について最も多く意見が寄せられておりましたが、今後の移動手段の確保について、地元の総意としてはどのような形態を希望されるのかお知らせいただき、可能な手法を検討できればと考えております。